

平成 19 年度第 1 回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会議事概要

1. 日 時 平成 19 年 7 月 20 日（金） 15 時 00 分～17 時 20 分
2. 場 所 関西学院大学大阪梅田キャンパス（アプローズタワー14 階 1402 会議室）
3. 出席者 （順不同、敬称略）

京都大学附属図書館	渡邊英理子
神戸大学附属図書館	石定 泰典
大阪府立大学学術情報センター	赤崎 久美
京都府立大学附属図書館	伊藤 務
近畿大学中央図書館	鹿田 昌司
大阪国際大学総合メディアセンター枚方図書館	尾崎 茂夫
花園大学情報センター（図書館）	福島 丞
京都産業大学図書館	近江由紀子
大阪大学附属図書館	大西 直樹
関西学院大学図書館	中村 順治

4. 議 事

1) 開会

開会にあたり、運営委員会選出の中村委員から近畿イニシアの設立目的と組織、及び能力開発専門委員会の意義、今年度の活動方針等について概略説明があった。次いで、半数の委員が交代したため自己紹介が行われた。

2) 主査選出

中村委員の進行により、運営要項に基づいて主査の選出を行い、鹿田委員が主査を務めることとなった。次いで、事務局について、今年度は引き続き石定委員が担当することを決定し、次年度については年度末に検討することとなった。

3) 能力開発事業アンケートについて

能力開発事業アンケートは前年度末に実施予定であったが、実施に至っていない。前年度委員会によって作成されたアンケート案は6月の運営委員会でも承認済みであるので、本委員会での了承を経て実施することになるが、発送時期、回収窓口、集計分担等が未決定であるとの説明があった。

特に団体宛のアンケートは回答に時間が必要と考えられることもあり、9月初旬発送、10月中旬を期限として、運営委員会事務局に発送を依頼することとした。また、回収窓口、集計用フォーム作成、個別館用アンケートの集計分担割り振りは事務局が行い、団体用アンケートの回答はすべて事務局で処理することとなった。

4) 中級研修について

鹿田主査から、資料8の「平成 19 年度大学図書館近畿イニシアティブ中級研修について（案）」は運営委員会でも承認済みであるので、「平成 19 年度能力開発専門委員会年間日程（案）」（資料5）に沿ってこれから具体的な検討を進めていきたいとの説明があった。

続いて、大まかな研修カリキュラムの検討に入り、意見交換を行った。主な意見は次のとおりであった。

- ・「広報」がテーマであるが、技術的な面を主とするのか、戦略的（理念的）な面を主とするのかが必ずしも明確になっていないように思う。
- ・「広報」の対象については、図書館の利用者を対象に考えるのが普通であろうが、大学に対する広報という視点も必要ではないか。また、大学全体の広報における図書館広報の位置づけも重要ではないか。
- ・何を広報するのか、図書館サービスの紹介なのか。班別討議をするにしても、イメージが沸き難い。
- ・講演の内容をどうすべきかについて、図書館外からの視点が必要であり、トータルな広報のイメージを話してもらった後、具体的な話に進むのがよいのではないか。
- ・海外の図書館の広報についての話も聞ければよい。
- ・基調講演については、広報にもいろいろな視点があり得るが、時間もあまりないので講演者に趣旨を説明して内容は任せた方がよいのではないか。
- ・1日目に数人の方に講演をお願いし、パネルディスカッションをしてもらい、2日目にメールマガジンなど、メディア別事例報告と班別討議としてはどうか。
- ・講演者の候補としては、仁上幸治氏、岡本真氏、山田稔氏、福嶋聡氏、国立国会図書館のHP作成者、島根大学附属図書館担当者、また電通、進研アドなどの企業の担当者が考えられる。

意見交換の後、主査から、本日の意見をもとにカリキュラム検討用資料を作成し、早急にメーリングリストを使って、講師候補者、カリキュラム案を固めて行くことにしたいとの提案があった。

5) その他の能力開発事業について

本年度は、その他の能力開発事業として、9月の国立大学図書館協会シンポジウムの協賛、平成20年1月のDRF国際シンポジウムの共催が運営委員会で決まっているとの説明があった。

以 上